

5R-7

受信された電子メールの漢字ポケベルへの 自動加工転送手法に関する検討

加藤 誠巳 寺山 武志 穴見 繁幸
(上智大学理工学部)

1 まえがき

近年、電子メールはインターネットによる情報伝達手段として広く普及している。しかし、電子メールは即時性がなく従来緊急の場合には利用できなかった。そこで、漢字ポケベルへの転送がその解決手段の一つとして考えられる。しかし、現在商用の漢字ポケベルでは、50文字表示が限界である。また、このような目的以外でも多量の電子メールを読む際、情報をコンパクトに圧縮出来ることが望ましい。

本稿ではキーワード抽出等を用いて電子メールを漢字ポケベルに転送する際の電子メールの情報の圧縮について検討を行った結果について述べる。

2 加工手法

現段階では以下のような極めてプリミティブな加工法を考えている。

2.1 事前登録

加工処理を実行する前にユーザが置換する文字の登録や、削除される引用文の個所に挿入する文字の登録などを行うものとする。

2.2 加工法 1

文字を削除する前に、全角の数字を半角にする、スペースを削除する、Signatureを省く作業を行う。(図1,2)

図1と図2を比べるとSignatureを省いた場合はかなりの文字数の削減になるのでSignatureの削除は重要であると考えられる。

A Study on E-mail Forwarding Technique
to a "Kanji" Pager
Masami KATO, Takeshi TERAYAMA,
Shigeyuki ANAMI
Sophia University

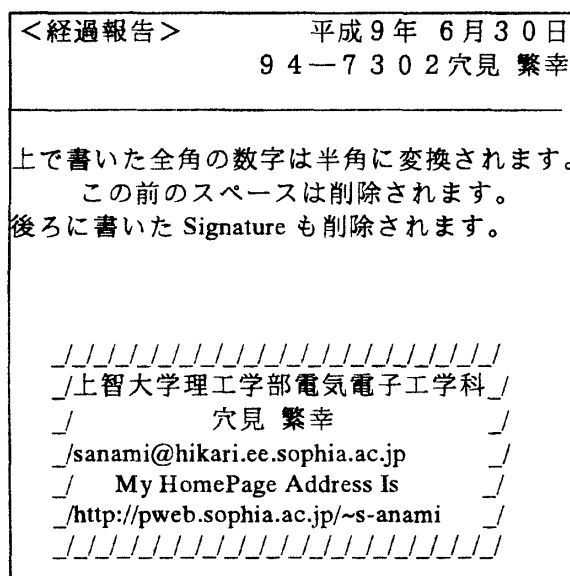


図1 加工前のメール

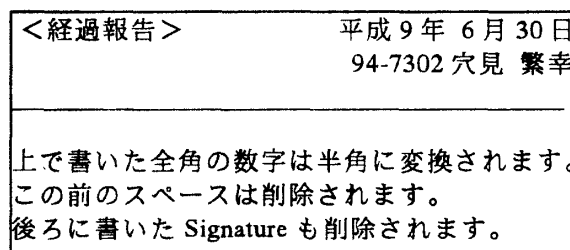


図2 加工後のメール

2.3 加工法 2

更なる加工法として次のようなものがある。

- ・文末の助詞の削除
- ・テンプレート文の削除
- ・文字の置換
- ・引用された文の省略
- ・決められた文字が入っている場合その一文の省略

(図3,4)

<経過報告> 平成9年 6月30日
94-7302 穴見 繁幸
(上の文はテンプレートなので削除される。)
拝啓 穴見様 (この文は拝啓という文字が入っている
ので削除される。)
穴見@加藤研です。(この文の文末の助詞は省
かれる。)
>この部分は削除されます。(この分は引用され
た文を表す挿の文字が入る。)
Windows95はWin95に置換されます。

図3 加工前のメール

穴見@加藤研。
挿
Win95はWin95に置換され。

図4 加工後のメール

2.4 加工法3

本文中に####で挟まれた文があった場合
その部分は文字の削除などを行わずにそのま
まの文で転送を行う。(図5)

####この部分は確実に漢字ポケベルの方
に転送されます。####ここからの文は前で述
べた文字の削減の手法を用いて文字を削減して
送られます。

図5 加工前のメールの例

また、受信されたメールをすべて転送するの
は無駄なことが多いのでSubjectや、Fromなど
で転送するかを判別するものとする。

3 むすび

上述の方法だけでは、任意のメール本文を5
0文字以下に省略するのは困難である。そこで、
更に文字を削除するの必要があるが、文字を削
除するだけでは意味が分からなくなる場合が多
い。そこで、削除した場所に削除したことを
示す文字を入れるなどの配慮が必要となる。

(図6,7,8)

これは、テストのメールです。このメールは
加工され、漢字ポケベルの方へ転送されます。
このように名詞の羅列、文末の助詞などを省
くと文章の意味が分からなくなる可能性があ
ります。

図6 加工前のメール

これはテストメール。このメール加工漢字ポ
ケベル方へ転送。このように名詞羅列文末助
詞省く文章意味分からなく可能性あり。

図7 名詞の羅列にした例

これは、テストのメール。このメールは加工
され、漢字ポケベルの方へ転送。このように
名詞の羅列、文末の助詞などを省くと文章の
意味が分からなくなる可能性が。

図8 文末の助詞を省いた例

図7を見て分かるとおりに名詞の羅列では意味
がわからなくなっている。

図8をみると図7よりも改善されているが、や
はり意味が分かりにくくなっている。

4 むすび

本稿では、電子メールを分割して、転送する
場合を別として、漢字ポケベルに転送する際
のテキストの加工法について述べた。今後、さ
らに文字を削減する方法について検討を行う
予定である。例えば、テキストの形態素解析を
行い、名詞の羅列のレベルで内容を損なうこ
となく文字の削減することを考えている。

最後に、有益な御討論を戴いた本学マルチ
メディア・ラボの諸氏に謝意を表する。

参考文献

[1]加藤、毛利、寺山：“電子メールの漢字ポ
ケベルへの自動加工転送システム”，情処第5
4回全大，4M-02(1997-03)。